

《 大草原の  
お化けススキ 》

入道雲と秋の兆し

## パンパスグラス見頃

国営ひたち海浜公園では「パンパスグラス」が見頃を迎えました。大人の背丈をはるかに越える巨大な姿は、広々とした大草原とあいまって、当公園ならではの風景を演出いたします。ススキにも似たパンパスグラスが風にそよぐ様子は、夏の暑さが残る園内で、季節の移ろいを感じさせてくれます。



大草原北東側 撮影/2020年9月9日

### ◆見上げるほどの大きさが魅力

パンパスグラスは、南米（ブラジル・アルゼンチン）原産のイネ科コルタデリア属の多年草。名前は「パンパス（南米の大草原）に生えるグラス（草）」に由来します。和名の「白銀葎（シロガネヨシ）」は、銀白色に輝く花穂から。『お化けススキ』の異名を持ち、草丈は2～3mにもなります。

イネ科コルタデリア属の多年草  
株数：約500株

原産地：南米（ブラジル・アルゼンチン）  
見頃：8月下旬～10月上旬

### ◆白だけでない、花穂の色にも注目

当公園では、大草原周辺に約500株を植栽しています。3つのスポットに分かれており、大きさや花穂の色の異なるパンパスグラスをお楽しみいただけます。爽やかな秋風を感じながら、自転車で駆け巡るのもおすすめです。

① **びよんびよんサークル 株数：10か所40株**

園内で一番背丈の高いパンパスグラスが並ぶ場所。サイクリングしながらお楽しみいただけます。

② **大草原北東側 株数：49か所200株**

桃色の花穂。唯一、サイクリングコース沿いではないので、並んで背比べなどフォトスポットに最適。

③ **常陸野・はまかぜサークル周辺 株数：270株**

常陸野サークル周辺では白色、はまかぜサークルでは赤黒色の花穂をご覧ください。



びよんびよんサークル（2020年9月9日撮影）



赤黒色の花穂（左 / 2020年9月9日撮影）

桃色の花穂（右 / 2020年9月9日撮影）

### ◆ふさふさと、尻尾のようでもあり

円錐形に広がるパンパスグラスの花穂は、ふさふさとした羽毛状。銀白色に輝く花穂は、まるでキツネの尻尾やライオンのたてがみのようにも見えます。

#### Information

みはらしの丘では  
コキアの花が咲きました

公園公式SNSもご覧ください



お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 尾澤・星

TEL:029-265-9001 FAX:029-265-9339

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4 <https://hitachikaihin.jp/>